

資料6

当面の進め方とスケジュールについて(案)

3月5日(月) 10:00～12:00 第1回専門調査会

- ・ 本専門調査会の検討事項及び進め方について
- ・ 意見交換

3月～5月 第2回～第4回専門調査会

- ・ 毎回、3～4名の委員等から、下記の検討テーマに沿って発表(一人当たり15～20分程度)した後、全委員で議論を行う。
- ・ 検討テーマの候補
 - 1) 企業・組織における取組
 - 2) 企業・組織の取組を支援する団体の活動
 - 3) 個人にとってのワーク・ライフ・バランスの意義、ワーク・ライフ・バランスを支えるサービス等すべてのテーマに共通して、行政等(国・地方公共団体・民間団体・社会全体等)に求められることについても議論を行う。

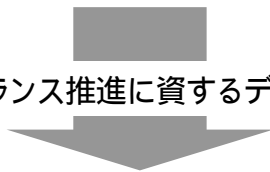
5月中

第5回専門調査会 議論の整理

6月頃

第6回専門調査会 中間的な取りまとめ

以後、ワーク・ライフ・バランス推進に資するデータ分析や事例調査等を行う。



第2回～第4回専門調査会 検討テーマ(案)

テーマ案1：企業・組織における取組

<報告・検討のポイント>

- 1) 取組を始めた経緯・必要性(意義)
- 2) 取組にあたって直面した障害とその克服策
- 3) 企業・職場の規模や業種等の特性に応じた取組
(人事管理・評価、人材育成・能力開発、業務マネジメント等における工夫等)
- 4) 取組のコストと効果
- 5) 取組成功のカギ
- 6) 今後の取組課題
- 7) 行政・団体等に期待すること(法・制度上の課題等を含む)

取組の例

- 両立支援策・制度(育児・介護・家族支援施策・制度)
- 柔軟な働き方(フレックスタイム、短時間勤務、在宅勤務、テレワーク、多目的な休暇、キャリアコースの変更、再雇用)
- 長時間労働の是正、有給休暇の完全消化
- 社員の自己啓発・地域活動支援 等

テーマ案2：企業・組織の取組を支援する団体の活動

<報告・検討のポイント>

- 1) ワーク・ライフ・バランス推進に関する団体の活動
- 2) 団体が把握する先進的な企業・組織の取組
- 3) 企業・組織の取組推進上の課題(共通点、企業規模や業種による違い等)
- 4) 団体としての役割や今後の活動の方向性
- 5) 行政等に期待すること(法・制度上の課題等を含む)

テーマ案3：個人にとってのワーク・ライフ・バランスの意義・ ワーク・ライフ・バランスを支えるサービス等

<報告・検討のポイント>

- 1) 個人にとってのワーク・ライフ・バランスの意義
：自己実現、家庭や地域における責任・役割、心身の健康保持等
子育て・介護と仕事の両立に加えて、他にどのような意義があるか。
- 2) ワーク・ライフ・バランスを支えるサービス
・必要とされるサービス(子育て、介護、学習・能力開発等)・情報・ネットワーク
・地域社会の役割 行政・団体等に期待すること